



# 圓頓寺 たより

発行所  
山鹿市山鹿55  
圓頓寺  
☎43-2424

## 第三十四世

### 順境院日攝

合掌 早いもので今年もお盆の月を迎えました。檀信徒御一同の皆様方におかれましては、愈々の御清適



団参の安全を祈願

のことと、御挨拶申し上げます。私も住職として、寺門興隆と寺檀和融を念頭に、日々精進出来ることは、皆様方の御題目信仰の賜であり、感謝申し上げる次第であります。本年下半年も菩提寺護持に御協力をお願い申し上げます。

さて、御報告であります。が、先般、五月十二日より三泊四日の日程にて、総本山・身延山「久遠寺」並びに七面山登詣団参に行つて参りました。圓頓寺と妙教寺との合同参拝旅行でありまして、計三十一名の多くの方々と共に参詣が出来、無事に成就、大変ありがた

い団参が叶ったこと、先ずは、感謝と共に御報告申し上げます。

住職として、簡潔に団参の回想を述べていきたいと思ひます。

初日は、早朝本堂に集合して、道中の安全を祈願して山鹿を出発しました。飛行機・バスを乗り継いで午後三時前に身延山に到着。早速、祖師堂にて御開帳を



御廟所にて

受けました。荘厳な御厨子に鎮座される日蓮大聖人の御尊顔を拝し、極間近にその靈氣靈験に触れて、一同感動の様子。「たとひいづくにて死に候とも、九箇年の間心安く法華経を誦し奉り候山なれば、墓をば身延山に立てさせ給へ。未来際までも心は身延山に住むべく候」『波木井殿御書』との御遺文の如く、日蓮大聖人の御心を感得しえた神秘の体験でありました。

次いで、ロープウエーにて思親閣へ登詣し、読経。本堂内正面の扁額には「知恩報恩」「開目抄」の日蓮大聖人の御言葉。一同、両親御先祖への尊崇の念を厚くして、下山。御廟所へ移動。日蓮大聖人の墓前にて頭を額ずき一同礼拝し、報恩の真心を捧げることができま

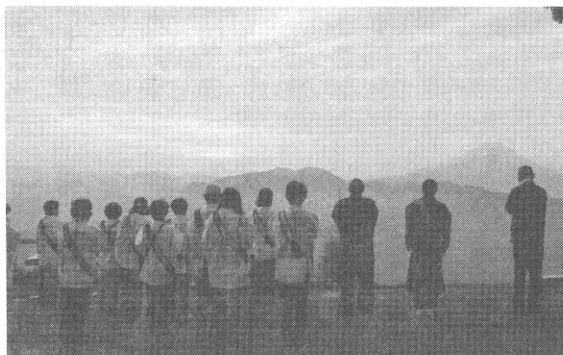


登山の安全を祈願

した。そして、宿坊の覚林坊へ到着、心のこもった精進料理をありがたく頂戴し、明日の参拝に備えました。二日目は、早朝より身延山の大本堂にて朝勤に参列。それぞれの思いを胸に、清浄なお勤めが出来ました。朝食後、全員揃って愈々七面山の登詣口へ。一読唱題後、登山安全を祈願し、切火を受けて、登山組二十名は出発しました。

見送りしていただいた十名の方々とはここで分かれて、通常の団参ではなかなか立ち寄ることの出来ない、身延周辺の各本山と日蓮大聖人ゆかりの諸寺院参拝に向かわれました。七面山組の登りは、石灯笼に〇丁目と書いてありますが、最初の二丁目までは朝からの霧雨で、天候を心配しましたが、忽然と晴れ渡り、春霞の塵埃を洗い流した山中の空気が、実に清々しいものでありました。皆さんも、それぞれの歩みにて順調に登りきることが出来ました。それでも最後尾は七時間近くかかりはしました。到着後は、簡素な風呂と食事を頂き、七面様の御開帳を受け、夜の勤行に参加し、登詣修行を通しての、またとない大きな功德

私も何度も御来光に臨んできましたが、今回が一番



ご来光を唱題で迎える

と守護を頂受することが出来ました。明日の御来光に向けて九時に就寝しました。三日目、日の出前に起床。御来光を拝すために、門前の広場へ移動。天候も良好で、富士山と立派な御来光を、一同唱題のもと迎えることが出来ました。

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

清流荘 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768  
電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)  
ファックス (0968) 43-5153

の眺望でありました。朝の勤行と食事を終え、下山。



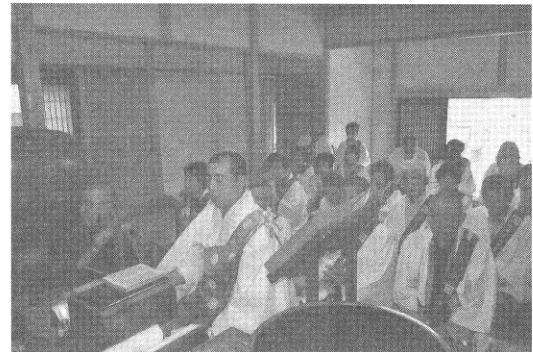
下山中ひと休み 星野上人（右）

難関がありました。が、「日蓮が人類同心なれば、人人すくなく候へども大事を成じ」『異体同心事』との祖訓の実践により、同行の方たちの菩薩行と御題目の力により無事に下山することが叶いました。昼食場所、身延周辺参拝組と合流。お話を聞きますと、各本山諸寺院にて善

き参拝が出来、丁重なる御接待、ありがたい御法話も受けられたとのこと、特に、七面様の随一の霊跡であります妙石坊にては、七面様の御開帳までさせて頂いた旨、登詣組と同等の功德と守護を賜ることが出来た由、感謝と共に、大変嬉しく思いました。

一路静岡清水へ。本山海長寺参拝。フェリーにて西伊豆堂ヶ島温泉に到着。最後の夕食です。慰労と懇親を兼ねた清宴。団参一同、親睦の深まりを築くことになりました。

最終日、西伊豆町の大行寺に参拝。大行寺の御住職である星野浄晋上人とは、私の学生時代の同級生で、横浜の妙香寺、身延の信行道場で一緒に修行生活をした御縁で、今でも懇意にし



大行寺の御開帳（星野上人）

て下さっている方であります。山鹿圓頓寺にも熊本団参等で度々お出でいただき、そのお礼を兼ねて、御開帳を受けた次第です。

星野上人は、若くして本堂の新築建立を成就され、また、地域では町会議員として貢献され、宗門内外で多大な活躍をされておられます。同級の頑張り、自分への励みでもあり、喜び

和 食 亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌

灯笼しょうじょん

山鹿市中1000-2

☎44-3131

でもありません。

今回の団参では、七面山参拝の引率のお手伝いも頂き、一方ならぬ御尽力を受けまして、一同感謝の気持ちをもって、参拝することが出来ました。



七面山登詣口にて

天候にも恵まれ、大きな感動と功德を心に修め帰路につき、無事山鹿に戻る事が出来ました。以上が、団参の御報告に

なりません。身延山参拝とは

何か。「我此山は天竺の靈山にも勝れ、日域の比叡山にも勝れたり、然れば吹く風も、ゆるぐ木草も、流るる水の音までも、此山には、妙法の五字を唱えずとということなし。日蓮が弟子檀那等は此山を本として参るべし」『波木井殿御書』との日蓮大聖人の御言葉です。御遺文の通り、

身延山に足を運ぶということとは、全身にて、妙法蓮華經の靈氣を感得することです。また、日蓮大聖人の棲神の地であるからこそ、直ちに神秘の靈験を会得出来ることなのです。だからこそ、身延山参詣は尊い修行になるのです。実際に行かなければ、分からないことです。

当山も、数年に一度は身延山団参を行っております。



ご来光を背に

日蓮宗徒は、生涯一度はお参りすべき聖地なのです。今回参加出来なかった方々も、次回には、是非御参加いただきませうようお願い申し上げます。一人でも多くの参加の御縁が生まれますよう祈念申し上げます。

再拝

『御遺文を多用し、挨拶が長文になりましたので、「法華經と御遺文の学習」はお休みします』

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

# 身延山団参特集

## 感謝！感謝！の七面山

熊本市池田町 伊豆永京子



切火を受けて出発（右）

妙教寺・圓頓寺の檀信徒三十一名での合同団参に参加いたしました。  
初日の五月十二日、総本山身延山久遠寺、奥之院、思親閣参拝。身延山の宿坊に泊まりました。

二日目は、七面山登詣と身延山周辺の霊跡寺院参拝組に分かれました。七面山登山口羽衣の表参道の鳥居前で記念写真を撮り、霊跡寺院参拝の人たちに見送られて、山頂に向かって出発しました。石灯笼に〇丁目と書いてありますが、五十丁の海拔一九八二mの山頂にある、法華経信徒の守護神である、七面大明神が奉祀されております敬慎院へ向かいました。先頭に院首様、最後から荒木英人上山が見守られて、徒歩での登山となります。私は妙教寺の三名の方と四人で遅れて

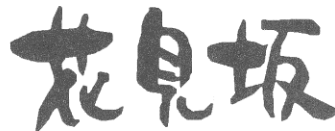
しまいました。それでも「楽しく、ゆっくり登ろうネ！上で泊まるんだからそれ迄着けば良いネ」と呑気なものです。一丁目登ってハイひと休み、また登ってひと休み。お上人が「二十三丁目休憩所があるよ」と言われ、その言葉に支えられもうひと頑張り、元氣になります。そこへ若い人が「南無妙法蓮華経」とお題目を歌のように唱えながら、登ってこられます。私たちは十歩位後に続きましたが、ついて行けません。「ハイお休みよ」と休みます。七面様は、遅れて来る人をお迎えに来て下さる、と言われました。  
後ろから団扇太鼓を叩きながら登ってこられたお上人が、英人上山と笑いながらお話ししながら登って来ら

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
☎(0968)43-2282

お食事処



HANAMIZAKA

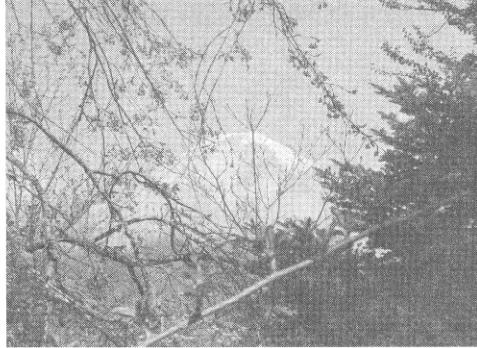
山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

れました。大学で同級生だった西伊豆・大行寺の星野上人と紹介して下さいました。とっても優しいお上人でした。私たち四人もまた元気をもらい歩き出しました。「お上人、富士さんはどこ」と聞くと、「ホラ真後ろヨ」と言われ見ると、木々の間からそれはそれは美しい、絵に描いたようなお山でした。ますます元気をもらいました。



何丁目？頑張る伊豆永さん

やつと頂上に着いたところに院首様が迎えに来て下さっていました。何でも子供みたいなの四人で、「梵鐘を鳴らすことは




豆桜と富士山

三十六丁目の下に来たとき、桜の花ビラがどこからか舞い落ちてきて、ガンバレもう少しだよと言っているみたいでした。そこで小さい小さい桜の花が咲いているのを、「豆桜」という花だと教わりました。

今日は下山の日です。行きは良い良い、帰りは恐い。前日一番遅くなったので、帰りは早くと昨日の友の四人で一緒に下山を始めました。大丈夫と思って乗った石がぐらり。転ばぬようと腰を下ろしたら立てなく

出来ないだろうか？」一人が言うのと院首様は快く教えて下さいました。「南無妙法蓮華経と唱えて打ちなさい」と。梵鐘に、ありがとうございます、と無事に登れた御礼を申し上げました。十四日は、朝勤参拝、御来光参拝。空は雲が掛かっていたましたが、風が吹いてくれたか、素晴らしい雲の絵が出来ていました。その中からお日様が顔を出され、綺麗な丸い姿の御来光を参拝でき、皆さん大感激でした。

 JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館  
やすらぎの里

 天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



永溝さん(中)

## 自分を見つめ直した 身延山参拝の旅

感謝！感激！感動！

なり、全身の力が抜けてしましました。院首様と、栗原筆頭総代、それに緒方さんには大変ご迷惑をおかけしました。自分の不注意を何回も口にするので、院首様は、「後は振り向くな、またそこ迄戻って降りて来るのか？ それは出来ないだ

ろう」と言われ、これは本当に人生と同じことなのだ。後を振り返ってもどうにもならない。反省は体験だと思いい、前に前に進む事なんだと気付かせていただきました。本当にありがとうございました。お二人が、七

面山の化身と思われるようになり、心の中でお題目を唱えながら下山が出来ました。皆さんから温かくお気づかいいただき、何て幸せな私だろうと、感謝！感謝！の身延山団参でした。一生の思い出として生きてまいります。南無妙法蓮華経

山鹿市天神町 永溝法子

「南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経」……お題目・読経の中に、父母はもちろんご先祖様のお導きなのだ、心の底から感じる自分がそこにいました。身延山参拝は、正に「心願成就」祈願の始まりです。

「七面山(一九八二m)に登山が出来る」「身延山、日蓮宗総本山をこの目で確かめたい」という軽い気持ちで参加を決めていました。しかし、お題目と共に総門をくぐり、身延山に一歩足を踏み入れた瞬間、違ってきました。初めて行衣を身につけた自分が、日蓮大聖人の胸の中に抱かれた実感がわいてきたといっても、過言ではありません。

# アシスト

ASSIST

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771

Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 <http://www.assist-kumamoto.jp>

「奥の院・思親閣」では、先日亡くした母への思慕と感謝の念が深まり、母の意志を継いでいく約束ができたようです。「久遠寺・本堂」では、大黒天祭の時に授与していただいた、真新しい行衣の真中にご朱印を押していただき、亡母に学んだ旅支度が始まりました。

二日目、「本堂」での朝勤は凄かった。その広さと荘厳さに圧倒されたのはもちろん、堂内に響き渡る読経のエネルギーの中に快く浸っていました。法話の中で日蓮大聖人の命日に当たる十三日にお参りできたことは、幸運なことであると力説されました。

いよいよ七面山へ。夜半からの雨音にやや不安を抱きつつ、温かいおもてなしの宿坊「覚林坊」を出発。



チョットひと休み

幸いに登山口に着く頃は青空が見え始め、絶好の登山日和になり、全員笑顔で出発。お題目と英人上人の火打石の切火で清め「安全祈願」、これまた初めての経験、ありがたいことばかり！

昨夜の雨で一層鮮やかさを増した新緑の中、鳥の声を聞きながら、一步一步足を進めました。坂道が続く、わりと傾斜は低く、足場も

あり、数カ所の坊があり、ひと休みひと休みで、それぞれのペースで登って行きました。

マイナスイオンを浴びながら、木陰にチラッチラツと富士山を眺め、頂への期待が膨らんでいった。頂上へ着くや、手が届きそうな富士山！眼下の身延山！北側のアルプス連峰！大歓声そして絶句！疲れも吹っ飛び、栗原総代さん、緒方さん、山本さん一家と写真撮りまくり。そして、七面山の敬慎院、山頂ならではの向きと様式で荘重な景観！朝夕のお勤め、法話など、文章にはできない感動とありがたさがありました。

「七面大明神」へのお参り、一生に一度の経験かと思いい、家族へのお土産にたくさんのお守りをいただきました。

**盛文社印刷**  
有限会社

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

**生活環境に、やさしい企業**

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号



三日目、朝四時起床！全員足早に「隨身門」へご来光遥拝！富士山上空が白々と、そして赤々といよいよ黄金色に染められていく日の出！大歓声とお題目、夢の中にいるようでした。朝のお勤めもさらに元氣よくできたと思われまます。



ご来光を背に

朝食を済ませ、水鏡がきれいだっただけ「一の池」を眺め、「七面大明神」に別れ難くもいよいよ下山！鳥の声に混じって、時折、「南

無妙法蓮華經」のお題目が聞こえる中、登りとはまた違った景色を楽しみ、七面山への思いを深めつつ、「白糸の滝」まで降りてきました。お昼には、七面山に登らず、身延山周辺の寺院を参拝されていた班の方にお出迎えをいただき、安堵いたしました。

山梨を離れ、静岡清水市へ、海長寺はゆつくりできませんでしたが、ありがとうございました。ご朱印をいただき、たくさんのお札とお土産をいただきました。夜は堂ヶ島温泉で、海鮮料理に舌鼓をうちながら、圓頓寺と妙教寺、そして西伊豆町の大行寺との交流を楽しみました。

いよいよ四日目最終日、西伊豆町の星野浄晋上人の大行寺へお参り。温かい読経と法話、それに七面山登・

下山でお見受けしたお姿から、今回の旅の意義を再認識させられました。伊豆の夕日絵ハガキを楽しんでいます。

清水港では、持ちきれぬほどのお土産を買って家路へ。皆さん元気で良かった。翌日・十六日は亡母の百ヶ日法要と納骨でした。これもご縁だったと感謝申し上げます。

数多く旅をしていますが、今回は楽しむだけでなく、生き方を学んだ旅でした。英人上人、英知上人、浄晋上人を始め、皆さんの温かいお姿「異体同心」を目の当たりにし感謝・感激・感動でした。新しい出逢いもいただきありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

合掌



拝む心で尊い品を

# 梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具  
寺院納骨堂設計施工

**本店**

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9  
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

**工場**

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4  
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail [umetani@umetani-jp.com](mailto:umetani@umetani-jp.com)

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>

お世話になった身延山団参

山鹿市久原 西川信子



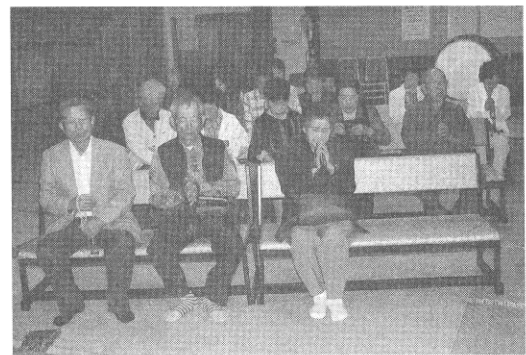
白糸の滝前の西川さん(中)

坊守様から、「西川さん、日蓮宗の総本山・身延山にお参りせんですか」と、お話をいただきました。「ハイ行きます」と言ったものの、二年ほど前から筋力が落ちて、入退院の繰り返しでした。たけれども、私はどうしてもお参りしたいので、毎日足腰の訓練をして、杖を持って登り下りを一歩ずつ、お題目と共に一生懸命歩く練

習をしました。急がず転ばないようにすることを心がけました。

団参にお参りすることを、息子夫婦に話しましたところ、「お母さんが行こうと思えば丁度良かたい。八十八歳のお祝いに行きなせ」と言ってくれましたので、とても嬉しく思いました。お小遣いまでいただき、「ありがとう」とお礼を言いました。

明日は五時出発です。息子が送ってくれますので、安心して早く休みました。朝食をゆつくり済ませ、支度も出来て外に出て見ると、少し雨が降っておりました。本堂に集合して団参の安全をお祈りして、出発



団参の安全を祈る西川さんら

しました。

飛行機の窓から富士山が見えまして、すごく綺麗でした。初日は祖師堂、思親閣に参拝しました。

翌日は、朝早くより身延山久遠寺の朝勤に参列しました。本堂におられるお上人様のお題目の力強い声、足元ガクザク力強い踏み込み、あのお姿忘れることはありません。お焼香までさ

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

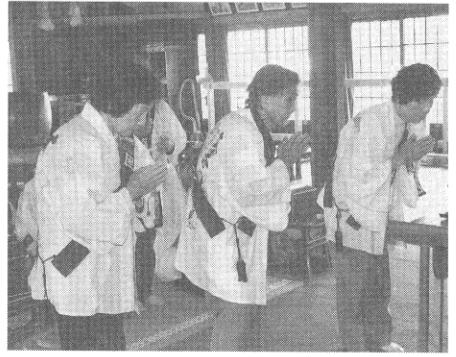
TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

(順不同、敬称略です)

圓頓寺・妙教寺  
身延山団参参加者

せていただいで、本当にありがとうございました。同行の皆様一人びとりに手とり足とり、大変お世話になりましたおかげさまで、つまずきもせずお参り出来て、心から御礼申し上げます。南無妙法蓮華經



焼香を待つ西川さん(中)



住職賞 永木さん

嬉しく興奮した住職賞

立教開宗法要・大黒尊天祭

荒木英人、荒木英知、栗原辰也、鬼木信次郎、原文雄、荒木恵子、瀬口ミズ子、阿蘇品ケイ子、伊藤千恵子、伊豆永京子、西川信子、東島広子、原君代、緒方仁市、山本勝一、山本トメ、山本繁、山本美代子、永溝法子、

小川昌二、白水敏幸、白水繁則、村上英子、白壁由紀子、伊藤邦枝、高原寿子、渡辺絹代、城戸和代、三好定子、下田福子、吉田邦子協力・大行寺星野浄晋、旅行社・ワールド観光、

山鹿市方保田 永木カチコ  
五月三日は、立教開宗の法要と大黒天まつりです。子供に送ってもらい、十時前にお寺の山門前で車を降りて、あまり歩かなくてよく助かりました。  
立教開宗の法要では、数珠を手にかけて両手を合わせしてお参りし、元気を感謝し



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739  
中町店 ☎ 44-0055  
仕出部 ☎ 44-5804

ました。大黒天祭では、英知上人様が、大黒様を一体一  
体清めておられました。私  
は今年も元氣であることを  
仏様に感謝しました。



大黒様を清める英知上人

お昼は、婦人会の方や当  
番地区の方が作られたおと  
きを、大変おいしくいただ  
きました。

法要は午前中で終わり、  
楽しい福引です。本堂には  
見たことないような沢山の  
賞品が並んでいます。私た

ちには受付でみんなに番号  
札が渡されています。

まず、皆さんに賞品が当  
たる福引で、番号が次々に  
呼ばれ賞品が渡されました。  
次に、子供福引があり、ジャ  
ンケンで一番の子供と他の  
全員に、英人上人から図書  
券が渡されました。いよいよ  
よ特別福引です。私の番号

### 亡夫の導きで婦人会長賞



婦人会長賞 吉田さん

は九十三番です。多くの賞  
品が、提供された方やお上  
人さんがくじをひかれて、  
次々に渡されています。当  
選された方は喜んで受け取  
り、楽しいお顔です。  
最後の住職賞で私の番号  
が呼ばれ、「ハイ」と大声  
で返事して出て行きました。  
番号札を係りの人に渡し、

熊本市植木町 吉田眞由美

去る五月三日、立教開宗  
護法恩会、大黒尊天祭が行  
われました。当日は天候に  
も恵まれ、多くの方が参詣  
に訪れました。

私は、今回奉仕当番とい  
うことでもあり、二年前に  
他界した夫に代わって、初  
めてお手伝いをさせていた  
できました。夫は、毎年こ

英人上人から賞品の掃除機  
をいただきました。係りの  
人から聞かれたので、自分  
の名前と嬉しい気持ちを興  
奮して発表しました。

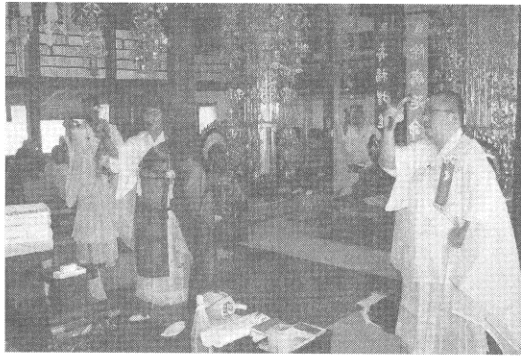
嬉しくて飛んで帰り、家  
族に報告しました。圓頓寺  
様、大黒様、ありがとうございます  
ございました。皆様ありがと  
うございました。 合掌



の大黒尊天祭と夏・冬の奉  
仕作業、除夜の鐘つきには  
必ず行っていたのを思い出  
します。そしてその日は亡  
夫の月命日でもあり、圓頓  
寺境内に眠る故人も、餅つ  
きの様子や、響き渡る莊嚴  
な読経を聞きながら、その  
様子を見守ってくれていた  
ことでしょう。

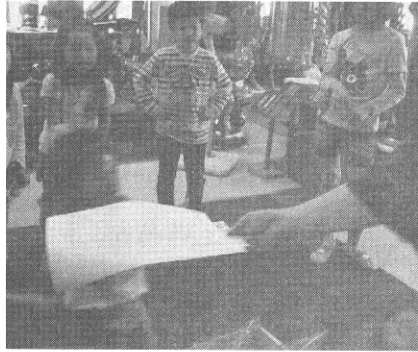
調理場ではすでに多くの

やがて本堂では福引会が始まりました。これも初めての体験であり、一般福引で皆さんが次々と当たり番号で景品を手になされ、わく



大黒天祭法要の英知上人ら

婦人会の方々や、奉仕当番の方々が出てきばきと仕事をされていました。弁当の盛り付けや配膳、そして後片付けと、私も及ばずながらお手伝いをさせて頂いていただきました。



職種から子供福引賞をいただく

## 福を引いた子供福引

わくドキドキの中、私もお酒が当たりいただくことができました。次いで、子供福引のジャンケン大会がありました。そして、堂内には豪華商品が並べられ、特別福引の発表となり、更に興奮と笑顔であふれかえりました。そんな中、思いがけず特別賞『婦人会長賞』が大当たりしました。綺麗な蘭の花とカーネーション

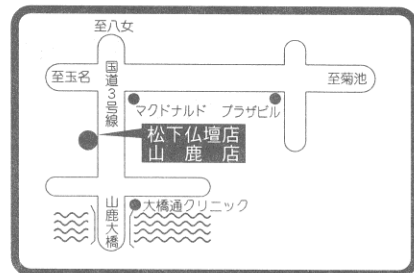
の花鉢です。なんだか亡夫が導いてくれたような気がしました。帰りに墓前に報告し、家のご仏壇にお酒と共に子供えさせていただきました。いつも私たちを見守りながら、家族一人一人の心の中で生き続けている夫のその遺影も、今日はお疲れ様といった表情でほえんでいました。 合掌

山鹿市鹿北町 山本希彩  
五月晴れが続くおどやかな季節、大黒天祭にお参りいたしました。  
午後からの子供福引大会では、お兄さん、お姉さんたちと一緒に楽しく参加し、ジャンケンをしました。が、何も分からない二歳の娘が

仏壇・仏具専門店  
**まつした**  
株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**  
大牟田市上町2丁目2 上官通り  
☎0944-56-3675
- 熊本店**  
熊本市中央区上水前寺1-12  
-12 (東バイパス熊工前)  
☎096-384-5666
- 玉名店**  
玉名市中平畑1832 玉名高校入口  
☎09687-4-4840
- 山鹿店**  
山鹿市大橋通り404  
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします



優勝してしまい、大変申し訳ないと思っております。

これも、無心に両手を合わせ、お参りをしたご褒美に、大黒様が下さったものと、ありがたくいただきました。

大人も、子供も楽しめる福引大会、お寺に足を運び、お参りできる「福」を「引いた」のだと感謝しています。ありがとうございます。

子供がまだ小さいので、代筆いたしました。(母)

**福引特別賞提供者**

(順不同、敬称略です)

圓頓寺住職、同子供特別賞、福岡・妙教寺、甘木・大安寺、唐津・龍王寺、妙教寺、執事長、圓頓寺本総代会、

圓頓寺婦人会、圓頓寺信行会、染と織おにき、井上組、中原電機、原文雄、とらや商会、和田純夫、ワールド観光、阿蘇品組、松下仏壇店、盛文社印刷、高森年春、喜久家、朝日新聞山鹿店、

**質問箱**

**通夜・目覚まし**

お父さんが亡くなった日、通夜と葬儀・告別式の日時を葬儀社の人と相談したQさん。

翌朝、葬儀社の人に来て火葬許可書を手渡し、白木のご位牌を二本ご住職に届けたこと。神棚を封じるのと、隣保組(小組合等の場合もあります)へ連絡する

イタリー亭、熊本第一信用金庫山鹿支店、(株)国富興商、履物銀鳥、日産プリンス山鹿店、井沢保険事務所、天寿苑、阿蘇品一男、高野英一、松尾英勝、上田常人、

**その九**

こと、通夜の準備・進行などを説明しました。東京・大阪にいる弟一家も帰ってきて、早速棺のお父さんと対面しました。

**Qさん**

隣保組の組長さんには昨日、「ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。」と連絡しました。住職にお聞きしましたが、お通夜とは、夜を徹することからきた言葉で、夜通し亡

**この街と生きていく  
face to face**

**熊本第一信用金庫 山鹿支店**

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

なつた人を見守り、霊山浄土での成仏を祈り続けることだそうですね。

**葬儀社**

そうですね。以前は、お通夜は夜を徹して行われていましたが、最近では弔問客の都合も考えて、午後六時〜七時頃に始め、読経などのおつとめが終わり、導師の住職様が退席し、喪主が弔問客へお礼の挨拶が終わったたら、弔問客の皆様はお帰りになります。

**Qさん**

私もお通夜に参列しましたが、喪主の挨拶が終わったら、司会者の言葉に従って、遺族に黙礼、頭を下げて帰ります。

**葬儀社**

以前は、親しい弔問客が故人を偲んで軽い食事をする「通夜ぶるまい」と言っ

て、簡単な精進料理やお酒を出して接待していました。が、現在ではこの習慣は少なく、通夜返しのお礼を渡す場合が多いようです。喪主はどなたがお勤めになりますか。ご遺族を代表してのご挨拶はどなたがなされますか。

**Qさん**

喪主は母もいますが家族・親戚と相談して、長男の私がいいたします。遺族を代表しての挨拶も私がいいたします。父の写真はこれでお願

**葬儀社**

いします。分かりました。お通夜のお礼状、葬儀・告別式のお礼状は何通準備したらいいでしょうか。

**Qさん**

何名来ていただくか分かりませんが、☆通お願いし

ます。

**葬儀社**

早速準備いたします。葬儀の時に弔辞を奉呈いただく方がありますか。

**Qさん**

母と相談して、父の友達と町内の老人会長さんをお願いしようと思つています。

**葬儀社**

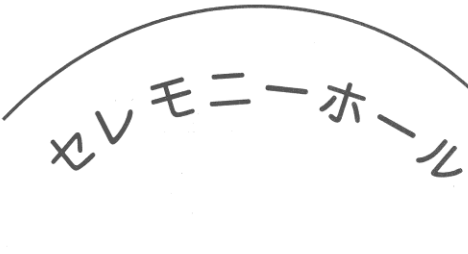
今日は午後七時からお通夜ですから、お昼すぎにお迎えに来ます。

**Qさんの家族、親族はお**

父さんの思い出に浸りながら、棺に何を入れるかなど相談したり、準備をいたします。

**葬儀社の人が迎えに来て、**

棺を男の兄弟や孫で霊柩車に運び、斎場へ向かいました。棺は葬儀社の人が祭壇前に安置しました。



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211  
フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿  
天龍会館

TEL (0968) 44-0444

斎場では葬儀社の人、喪主、母、親族が座る場所を指示し、弔問客への対応、焼香の順番、供花・供え物などを喪主と共に確認しています。喪主は司会をする人と進行について、打ち合わせもしています。

受付をお願いした隣保組、会社の方々に来たので喪主は挨拶をし、受付の準備が始まりました。

弔問客が来始めましたので葬儀社の人、遺族を座席に案内しました。

住職も三十分前には斎場に到着し、喪主が挨拶しています。〇〇院〇〇日〇信士と法号(戒名、法名)が墨書された白木のご位牌を葬儀社の人に渡し、葬儀社の人、人が霊前に安置しました。

午後七時になり、司会者

により通夜が始まり、導師(住職)入場、導師の読経・焼香、喪主・親族・参列者の焼香、導師の法話、導師退場、喪主の挨拶で通夜が終わり、弔問の皆様はお帰りになり、家族・親族でお父さんに寄り添い、香を絶やさないようにしながら、お父さんの思い出を話しています。

受付をしていただいた隣保組、会社の人から受付簿と目覚まし、香典が喪主に渡されました。

**東京・大阪の弟**

兄ちゃん、目覚まして何ネ、東京には無かごたる。ウン大阪にも無か。

**Qさん**

目覚ましはどこにでん有ると思つたら東京、大阪には無かたいネ。そういえ

ば広島義兄も目覚まして知らんだったナ。

**東京・大阪の弟**

目覚ましてどういう意味があるネ。

**Qさん**

目覚まして当たり前で深く考えたことも無く、知らんけん今度住職に聞いておきたい。

夜も更けてきたので兄弟だけでお父さんに付き添い、香をたき、他の人はそれぞれに帰りました。

**初七日を迎え法要を営む**

Qさんが、住職に目覚ましについて聞いています。

**Qさん**

お通夜のときの目覚ましは、東京、大阪には無いそうです、熊本だけの習慣でしょうか。



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します  
住宅金融公庫その他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞  
山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範



住職

そうですね、目覚ましは熊本での習慣のようですが、県内でも目覚ましは近親者のみが行い、それ以外の方は近所の人でもしない所もあります。また県内でもしない地域もあるようです。

Qさん

熊本県以外では、目覚ましという習慣は無いのでしょうか

住職

いいえ、聞いたところによると、本州の一部にあるようです。

Qさん

熊本県でも地域によって少し違うようですが、他の県では無いのでしょうか

住職

目覚ましという表書きではありませんが、「御伽見舞い」、「通夜見舞い」とい

う習慣の所もあります。

【御伽見舞いとは、トギをする（徹夜して仏を守る）方へのお見舞い】

Qさん

似たような習慣がある所もあるんですね。ところで目覚ましにはどんな意味があるのでしょうか

住職

目覚ましは、以前は米、酒、食べ物などに「目覚」と書いてお通夜にお持ちしっていました。いつのころからかお金になりました。

Qさん

そうですね今では封筒に目覚と表書きして受付に渡します。

住職

目覚ましの意味は、遺族は一晩中線香を絶やさないように、いただいた目覚ましを食べて、目を覚まして

いたそうです。

Qさん

なるほど一晩中付き添う方のためですね。

住職

二つめは、亡くなった人にもう一度「目覚めて欲しい」という意味が込められています。

Qさん

そうですね、亡くなった人のことも考えてあるんですね

住職

三つめは、亡くなった人をご縁にして、「仏法に目覚めよ」という意味もござ

Qさん

仏法に目覚めよですか。大きな意味がありますね。目覚ましに三つの意味があることが分かりました。ありがとうございました。

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

# 横手会館

# 横手仕出し

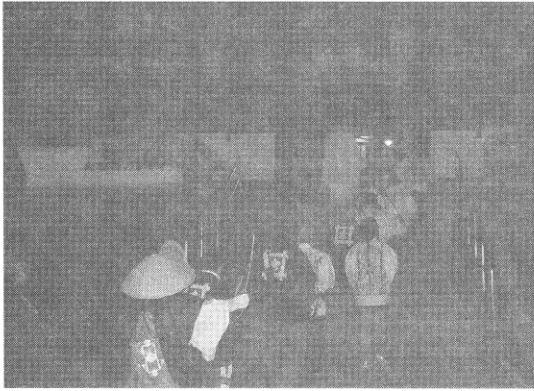
山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

## 割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

平成二十六年寒修行山門に帰着



# 行事スナップ

(注) 編集子が父を亡くしたときの体験を基に、「日蓮宗のしきたりと心得」、その他文献を参照して編集し、住職に監修していただきました。



月例信行会参加の方々



寒修行参加の方々



26年6月合同大掃除



鬼子母神大祭参加の子どもたち

毎度ありがとうございます  
米・肥料・農薬・たばこ  
(全商品配達致します)

## (有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦  
☎ (0968) 43-2526  
無料電話 0120-23-2526  
山鹿市大宮町641-2

## 熊本日日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

## 若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介  
園長

# お寺の行事

土用丑の日

七月二十九日午前十時

## お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月二十九日（火）に、ほうろく灸祈祷会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要です。で、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円  
一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円

○記念法話（午前十時）

○ほうろく灸祈祷は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（月）  
午前十時

## 御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月八日（月）  
午前十時

## 荒神大祭

### お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた三宝荒神（地・水・火）への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月

## 合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、地区世話人、墓地所有者

檀信徒合同奉仕

婚礼・着付

# サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

平成十七年度～平成三十四年度

りっしょうあんこく  
**立正安国** ●  
 だいもくけちえん  
**お題目結縁運動**

日蓮宗

発行所

山鹿城趾

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七八二八

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunya@hyper.ocn.ne.jp